



バルアサ
まとめ本

2023年の4月から続けている
1日1バレエサ統集編です。
日々のがんばりの記録として
1冊の本にまとめておきましたので。
少しでもお楽しみいただけたら
幸いです。

漫画を中心に
まとめています。



バルアサ語り。その1

緋色の野望がサガスカをプレイするきっかけでした。スマホでサガシリーズの最新作がプレイできるというのに惹かれて購入。瞬く間にそのプレイ性と戦闘システムに惚れ込みました。

1周目のウルピナ編をクリアした時点で”4主人公クリアしたい”という目標が生まれ、2周目のタリア編を経ての3周目バルマンテ編。離脱ルート&処刑エンドがあるという情報は事前に知っていたので、最悪のバッドエンドが見たいという思惑でプレイ。途中までは、2人の関係は友情として捉えていました。思っていた以上にノリの良い2人の漫才のような掛け合いに、事前のイメージを良い意味で覆されたのを覚えています。

そして迎えた、離脱ルート。アスワカンの中央星神殿の前で、「行こう、アーサー」とバルマンテがその場には居ないアーサーの名前を呼んだ瞬間に、「これは愛だ」と一転して腐沼に転げ落ちました。

さらに畳み掛けるようにして、“裏切り・悪堕ち”という性癖をアーサーにぐさぐさ突き刺されたという……。

結局、その周はうっかり間違いで最高のトゥルーエンドとなったため、ED回収のためにバルマンテ編を繰り返すことになったのでした。レオ編は6周目にプレイしたらしい。(Xのプレイ記録に残ってた)







僕が何者
なのか

君の判断に
おまかせするよ。
バルマンテ



でも
嬉しいな

えんなに動揺
する君が見れる
なんてね





— ……
なぜだ？



なぜ、お前は
毎夜、俺の前に
現れるのか



そんなにも
俺を恨めしく
思っているのか

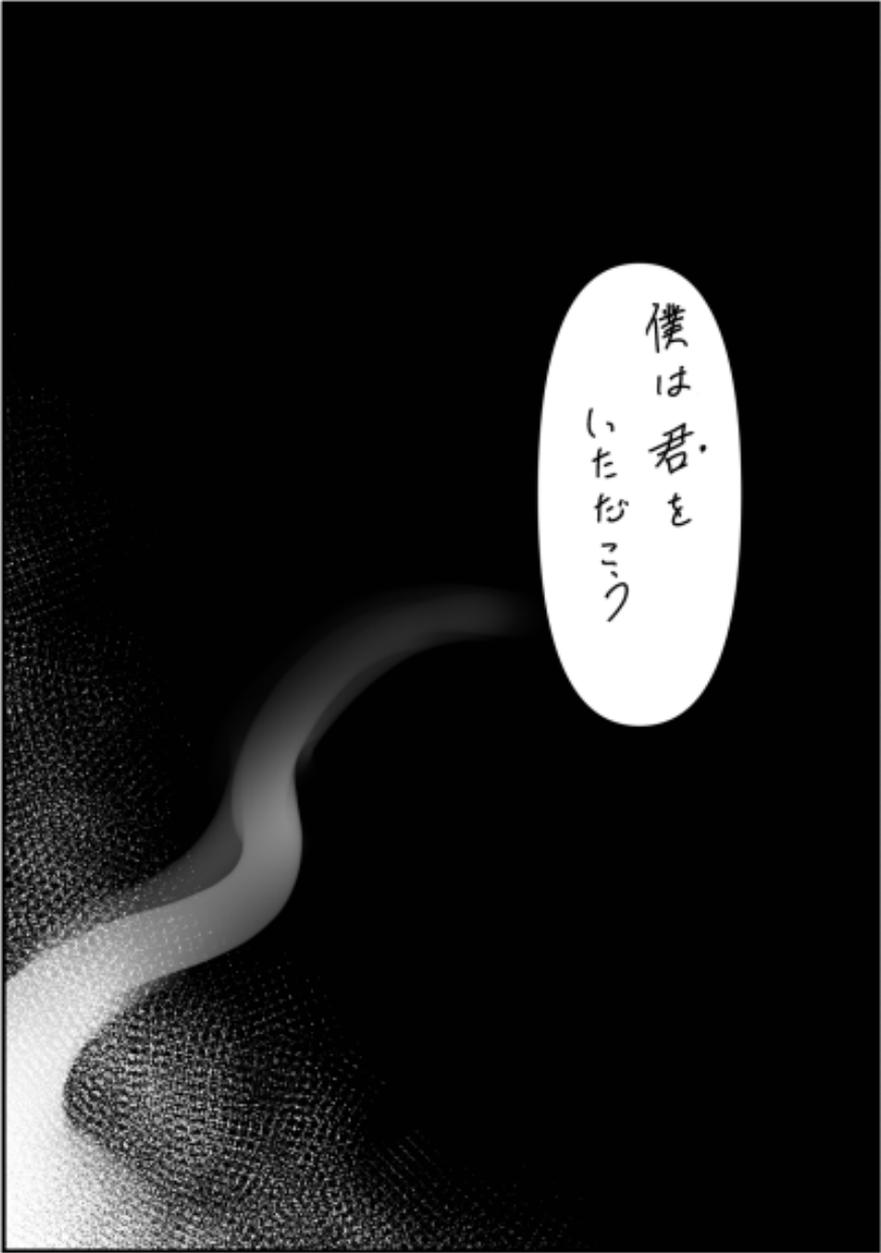


初体験は
特別だよ
言うぞまづ

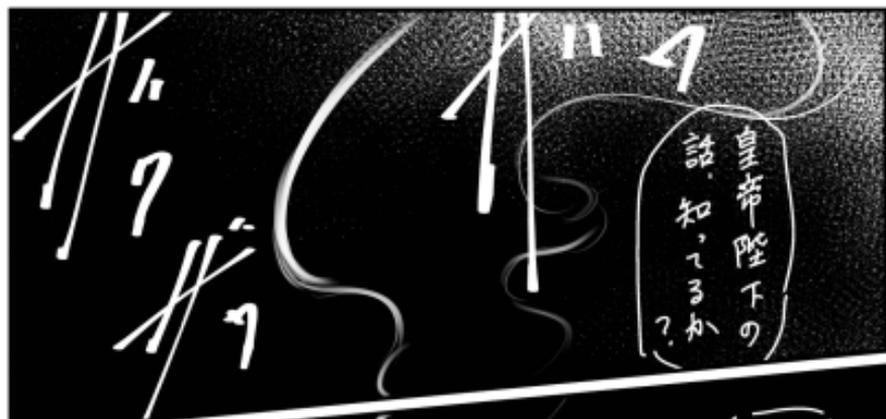
君の初めてに
なれたことは、
誇りに思うよ





A black and white illustration. In the lower-left foreground, a hand is shown in profile, holding a glowing, white, oval-shaped object. The background is dark and textured with a fine, grainy pattern. The oval contains Japanese text written in a vertical, calligraphic style.

僕は君を
いたぶろう







けねど、運命は
残酷で



皮肉な
ものだね

ああ、目の前に
横たわる
哀れな姿は

ホッリ



持たざる者の
方が、報われる
なんて、さ

あり得たかも
しれない
僕の末路だ





お前の口から
そんな言葉が
聞けるとはな

変わったな。
アーサー

以前のお前なら、
俺が止めても
行ったおらう

……
当たり前だろ

君しか本物と
思えないんだから

……
信じて、
いいんだな？



整、た容姿は、
大きな武器だ



時には
冷徹に変身する



時には
愛をささやき



時には
媚をこらつうい



相手が求める、僕で
応じれば、面白いくらい、
思ひ通りに事は進む

あまりに
楽な話だ

死刑人として、
人間だ

さて、彼に對する
最適は
何だろう？

色々な知識も有して
いるんだろう？
必かご殺したがる
たいか

……スゥとお
よか、たご一掃に
ご舞せもどう？

あのさ、
返事くらいして
く木もよくない!!



7
えんじな話し方も
できるのだな

何だ



変に
気取っているより
ずっと自然に
見えるわ



あ、未ワ、
今、懂は、



……
何ぞソレ



何を被、て
いたのだけ



……
思、たままを
振、えただけだ



わけわかんない



ちよ、とちよ、と、
それ、ど、ういうコト？



こまじは
2024年
1月中旬
まじの
ログ”
でした。



ここからは
2023年の作品の抜粋
ログとなります。



さよなら、
ハルマント



行くな

待て

アァー





よっやく
捕まえたぞ

アーカー



おう
二度と

手離しは
しない



お前の体も
心も、命も
ヤミえも

永遠に
俺の物だ

ああ、どうか
願わくは

ああ、あのセ
バルマンテ

また、
何かあったら

……
その時は

永遠に
続きます
ように

君との
この友情が

フッ

ああ、当分に
してるぞ、
アーサー

バルアサ語り。その2

そんなこんなでサガスカ&バルアサ沼にハマってから、かれこれ5年以上。今年(2024年)で6周年ですね。小学校に入学してから卒業までと考えると、秘宝伝説に並ぶ勢いでひたすらに愛し続けている存在と言えます。1つのものにハマるとどっぷりそれに浸かって居られる性質なので、ゲーム好きというよりは、好きなゲームに一途なのだと思えてきた。広く浅くができないのです。

これまで、いろいろなジャンルを渡り歩いて創作活動を続けて来ましたが、2次元でここまで描き続けられたのは初めてです。元々は3次元(ヴィジュアル系やプロ野球)がメインだったし、CP妄想も3次元のナマモノでしかできませんでした。

じゃあ何でバルアサではCP妄想ができたのかということ、マルチEDが許されたゲームという媒体故なんじゃないかと思います。

漫画もアニメも、基本的には一本道の物語です。それ自体が完成されているからこそ、その行間を読んで補完するという楽しみ方は私にはできなかった。

一方、サガスカはある意味では行間ばかりの物語です。全てが語られないからこそ、そこにあったであろうやり取りを想像したくなる。さらにそこに6通りの未来が提示されていると言うのだから、二次創作がとてもしやすいと感じます。2人の会話を増やしていくのが、とても楽しい。









ムリ
そんな面倒な
こと、僕一人で
背負いきれないよ

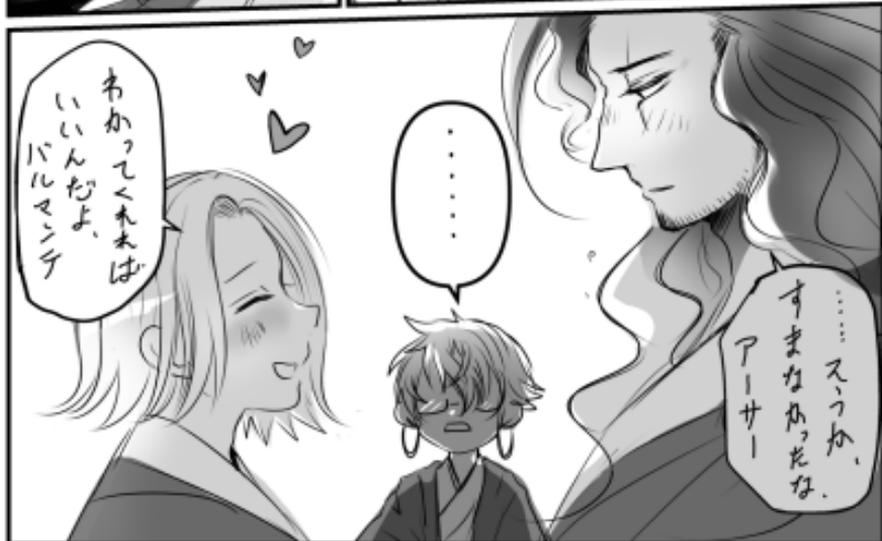
お前が率先して
歩脚けやれば
良かったのでは
ないか？



えれに。

君じゃなまや
その、うごく
息苦しくて

うごく、
さおしか、たんおよ



おかつてくもは
いいんぢよ、
バルマンテ

.....

.....
えうか、
すまなか、たな、
アーサー



ヤンヨウジ本家を
牛身るといふ
野望は達成された

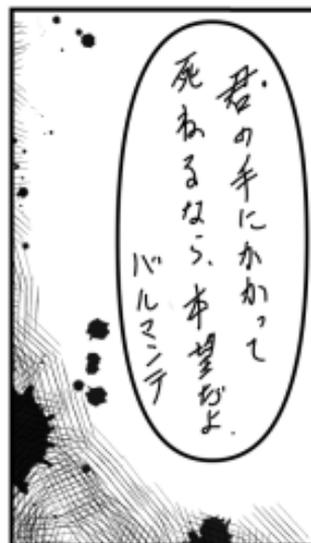
富も地値も。
血脈も——全て
僕の意のままだ

——と。
言うことは、だ

この州の法廷外刑人
である君もまた、
「僕のもの」である。と
言っても過言では
ないだろう

刑は法の下に執行
されるものだから、
私的な使用は認め
られないものはない

詭弁だな





目をえらさないで
聞いて



僕は。

君が欲しい

ア—サ—







必要以上に閑
わらないの必要に
因襲たろ

得策……ねえ
えうとも言いきれ
ないんじやない?

損得なんし
ものは多量か
味あることじゃ

それは
本心か?

どこの馬の骨とも知らない
やつに処刑されるより、信頼が
おける相手に処刑される
ことを僕は望むわ

今メシ猫かぶるハモ
意味ないからわ
本心だよ、本心

十分揉める価値
ありと思っし話し
てるの、僕は

バルマニテくん

……

アーサーくんには
気をつけた方がいい

アは羊の尻を
被った狼のような
モノだ

そうか、その方が
接しやすくして
脚かる

ニクフレイは
そう
言っていたが

彼の外面の良さに
おませ木ちゃいけなよ

あえてたまさか
おろの毛
落とさないだろう

ま
笑、お！

あたしは
フラれたよ。
とっくの昔に

好、き、し、て、
ハッキリ
伝えたの、でも

兎刑人とあまり
関わるものじゃ
ないって

——……思いが
届かないのは、
確かに辛いよ。

そう、
辛いけど、

「好き」と
伝えずにそのまま
関わる方が

あたしには
耐えられなかつた
から

だから、
あなたも……

「勇氣」の話



本当の恋
なんて
知る必要は
ないと思っていた



星神が
僕を引よ
合ませた

これは
運命だ

僕は君に
恋をした



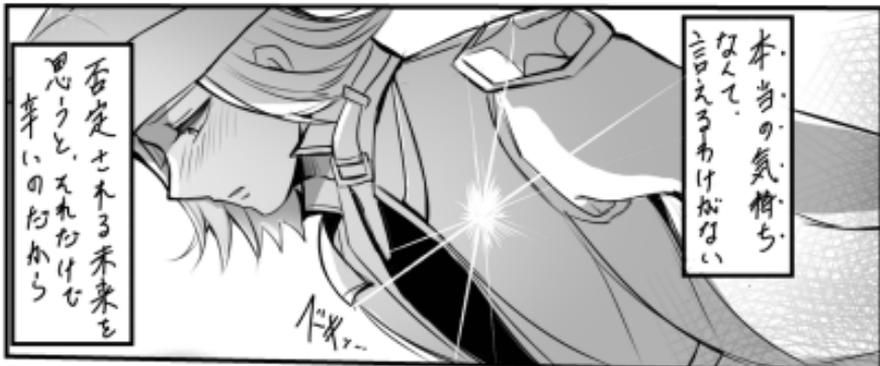
紙、それと同じ
破れても大した
ことはないのだから

薄っぺらい言葉で
愛を語るのほ
性に合っていた



だから
正直な話、
わからない

彼に僕は
どんな言葉も？
使えたらいいんか？



本当の気持ち
なんて、
言葉でわけがない

否定される未来を
思うと、それだけ
辛いのかも



.....
それなのに

「好き」を
偽ったら、一生
後悔するんだよ

だから、あなたも
勇気を出して



えんな泣きはらした
ような目で
ミロわめたくて

目の前の
彼女の姿は



説得力は
皆無およ
マリオン

本心と言った
方が後悔する

まるで
自分の
顛末を
見ている
ようだ
と思っ
た

僕は
スう、思っけどね



おっり

……

……

……



いくじなしで
かまわない



自分の本心に
蓋をし続ける
ことも苦じやない



このまま
側に
居らねるのなら



親友のままで
十分だ







これび
合っているか？
アーサー

……意図は
よくわからんか



……君は、
嫌じゃな……

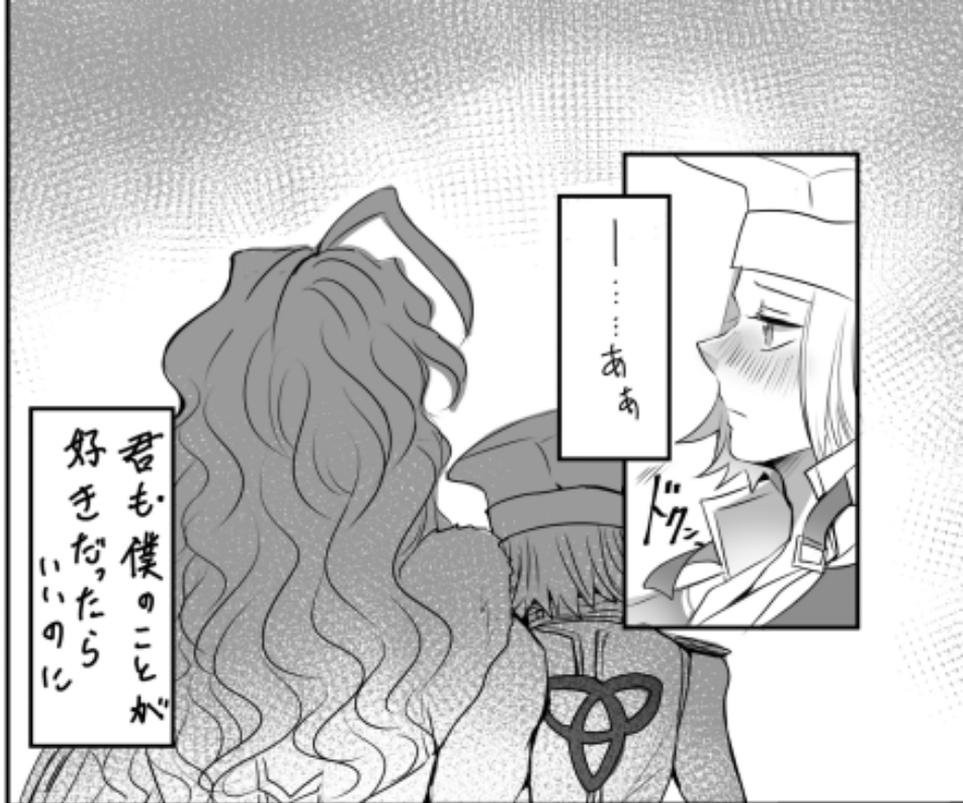
こんな対応を
せよたら



それを振り払えよ
ほい、交際には
なりきれないようだ

どっしても
期待してしまおう

お前の手は、
わすかに震えて
いた



君も僕のこゝろが
好きだったら
いいのに

……ああ

ドクッ



ただの
強がりだ

“親友”のままでは
十分なんじゃない







好きなんだ

君のことが



この気持ち
すら
偽って



後悔、
したくない





ずっとうとうして
お前を
抱きしめたいと
思っていた

この充足感を
知らずに
過ごすのは

好きだ。
アーサー

確かに
一生の
後悔だ

……
ありがとう

欲の話。

欲深いのは
罪深いことなのか

おいしいものが
食べたいのか

美女と
一夜を共に
したいのか

多種多様な
欲が存在する
からこそ

お金を湯水の
ように使いたい
のか

権力を
得たいのか

人生は輝くの
かと思っけどね









えれで
満足させちゃ
困るんだよ



君の
世界
全てが

僕なんかであって
いいはずか
ないのだから――



あとがき。

昨年の10月から、まとめ本を作りたいと言いつつ、なかなか作業を進められずにいましたが、何とか形にできました。

4月からのまとめ本と銘打ちながらも、4月に描いた絵は収録に耐えるレベルでは無かったため、オール没になっています。元々は朝活ワンドロで取り組んでいた関係で、初期のは本当に線が雑……なので、古めの作品に関してはちょこちょこ加筆修正して収録しています。

さて、そんな過去ログたちですが、さすがにこのまま日の目を見ないのはかわいそうなので、こちらに鍵無しでUPしてみました。昨年のものが対象となります。小説ログへのリンクも貼ってあります。

この本を最後まで読んでくださった方へのお礼でもありますので、他所への転載やリンクはしないようお願いいたします。



最後まじ読んび
くださり、本当に
ありがとうございました!!

「バルアサまとめ本」

発行日 : 2024/1/28

発行者名 : any

X→@uniniuni2

連絡先 : uniniuni2@gmail.com

印刷会社名 : pixivFACTORY



